



カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む通信

2009.05
Vol.

62

SOS DENTIST

発行 / SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F
TEL: 03(5623)3651
FAX: 03(5623)1119

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで... ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

介護付き有料老人ホーム「古正寺の杜」(新潟県)のモットーは、お客様の「○○したい」という行動欲求を喚起し、そのサポートを行うことで、満足いただける介護を提供すること。お客様に欲求の実現していただくための基本は、しっかりと食べることにあり、お口の健康の大切さを再確認しています。

毎日いきいき過ごすためには、しっかりと食べることが基本



株式会社グッドエイジングクラブ
介護付き有料老人ホーム
「古正寺の杜」
アテンダー
松崎美和子さん(写真左)
横山 素子さん(写真右)

これまで、「お口の健康相談」というものがあることを知らなかったのですが、その言葉を聞いたとき、とても新鮮に思えました。私たちも一生懸命やっているつもりですが、どうしても身体的な部分に先に目がいき、お口のケアは二番手三番手になりがちでしたので、日本訪問歯科協会の協力で「お口の健康相談」を実施したことは、口腔ケアの重要性を見直す、よいきっかけになりました。

認知症のお客様では、日頃から反応を得ることがなかなか難

しく、歯科の受診なども困難な方が多いので、今回、歯科の先生に来ていただいたことは、スタッフにとってもありがたいことでした。要介護度が低くて元気なお客様の参加は、残念ながら期待していたよりも少なめでした。ご自身で歯医者さんに通われている方もいるので、そういう点も影響しているのかもしれませんが、もう少し私たちのほうからも働きかければよかった、と思っています。

「お口の健康相談」の後は、スタッフもお客様も、口腔ケアに関する意識が少し高まったように感じています。歯みがきはこれまで基本的には1日3回で、ご自身でできる方はご自分で行いますし、できない方はスタッフがお手伝いしています。全体的に歯みがきがていねいになりました。

「お口の健康相談」は、これからも定期的に続けていきたいと思っています。先生にみてもらったこと

も定期的

で、安心したというお客様の声もありましたし、私たちも口腔ケアに関する知識がまだ不十分なところもありますので、いろいろなことを教えていただき、吸収していきたいと思っています。たとえば、なかなかお口を開けてくださらない方の口腔ケアなど、よい方法があれば、ぜひ教えていただきたいです。

連携医療機関として 歯科の存在も重要

毎日、お客様に生活の潤いや楽しみを感じながら過ごしていただくために、何かをしたいというご本人の意志を大切にし、それをサポートする介助を行うことで、お客様に満足いただける介護をご提供できる。それが、私たちの仕事のスタンダードと考えています。

お客様にやりたいことを実現していただくためにはどうしたらよいかということ突き詰めれば、いちばん基本になるのは、しっかりと食べていただくことだと思えます。きちんと食べて健康でいられればこそ、いろいろな楽しみも実現できるのであり、そのためにも口腔ケアは重要です。

お口の健康を考えれば、連携医療機関として、歯科もあれば理想的です。施設内には診察や検診をしていただくスペースもありますから、訪問歯科診療などもできるかもしれませんが、まだ具体的にありません。また具体的な形で取り組んでいけたらよいと思います。

今日から始める、簡単お口のケア! アドバイス

高齢者の「廃用症候群」

健康な人でも、使わない筋肉はどんどん衰えていきます。高齢者の場合、骨折などで長期間の安静を保ったり、「疲れるから」とずっと体を動かさなかったりしていると、いつの間にか動くことができなくなり、全身の機能が衰えてしまいます。

このような状態を、「廃用症候群」といい、筋肉や関節だけでなく、さまざまな臓器にも悪影響を及ぼします。

- 廃用症候群の主な症状
- ・血圧の調整機能が低下し、立ちくらみを起こしやすくなる。
- ・心臓の機能が低下する。
- ・肺活量が減り、感染症にかかりやすくなる。
- ・関節の柔軟性がなくなり、固まったまま動かせなくなる。
- ・骨がもろくなり、骨折しやすくなる。
- ・平衡感覚が低下し、体のバランスを失い、転倒しやすくなる。
- ・食べ物がうまく飲み込めなくなり、誤嚥しやすくなる。
- ・排泄機能が低下し、便秘や膀胱炎になりやすくなる。
- ・脳への刺激が減り、うつ状態や認知症の原因になる。 など

そうならないためにも、日頃からきちんと食事をして、体をしっかりと動かすことが大切です。